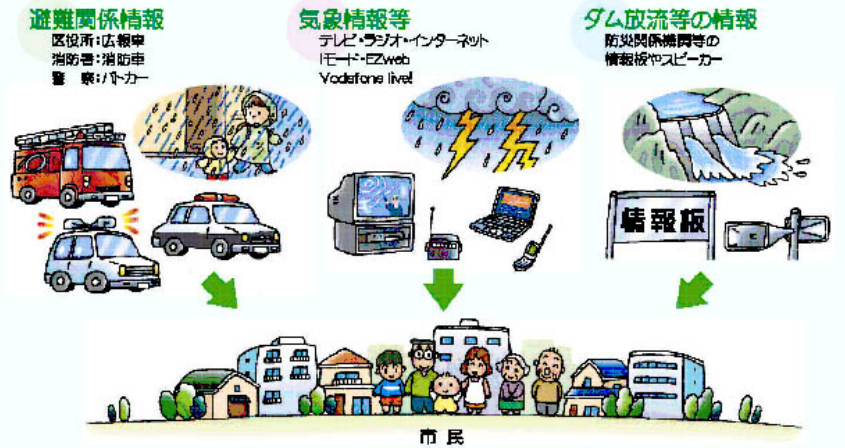
避難の情報はどこにある？

気象情報や災害情報、避難勧告等は、下記の図のような経路でみなさんに伝達されます。



気象（天気予報、注意報・警報等）に関することは
◆札幌管区気象台 http://www.sapporo-jma.go.jp
◆気象庁 http://www.jma.go.jp/JMA_HP/jma/index.html

河川（雨量情報・水位情報等）に関することは
◆国土交通省「川の防災情報」 http://www.river.go.jp（携帯電話 http://i.river.go.jp）
《北海道版》 http://www.river.go.jp/hokkaido/hokkaidojsp/mapFrame/index.html

避難等に関することは
◆札幌市消防局 http://www.city.sapporo.jp/shobo/Index.htm

避難する時の目安

行政がとる行動	事象・状況	みなさんがとる行動
情報収集や警戒活動の準備に入ります。	台風情報 大雨・洪水注意報	ラジオやテレビ等で今後の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。避難する前に、親戚や知人に連絡するのを忘れずに。
警戒配備体制をとり、災害情報等の収集・確認や警戒巡視を行います。	大雨・洪水警報	
自主的避難（避難勧告準備）を促します。必要に応じて避難場所を開設し職員を派遣します。	危険な予感（降雨がさらに強まる／河川の増水／道路が冠水／地下鉄車場等への浸水等）	いつでも避難できるように避難の準備をして、テレビやラジオの放送、市役所や消防署等からの呼びかけに注意しましょう。お年寄りや子ども、要援護者の方は、避難を開始しましょう。また、近所にこのような方がいらっしゃる場合は、避難に協力してください。
避難勧告を発令し、住民のみなさんに避難を呼びかけます。また、避難場所を開設し、職員を派遣します。	災害危険大（避難勧告）	最寄りの指定された避難場所に速やかに避難しましょう。
避難指示を発令、災害対策本部を設置し、応急活動を実施します。	災害危険切迫（避難指示）	最寄りの指定された避難場所に直ちに避難しましょう。

● 避難の情報はどこにある？

・　避難勧告の情報や避難に役立つ気象情報・災害情報などは、いろいろな方法で入手することができます。例えば避難に関する情報は区役所の広報車、消防車、警察のパトカーの他、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

・　台風情報や気象注意報・警報などの情報はテレビ・ラジオの他、気象台等のインターネットホームページで入手することができます。降っている雨の量や川の水位等の情報についても国土交通省などのインターネットホームページで入手することができます。

◆天気予報、気象注意報・警報などに関することは

札幌管区気象台　http://www.sapporo-jma.go.jp

気象庁　http://www.jma.go.jp

◆雨量情報・水位情報に関することは

国土交通省「川の防災情報」　http://www.river.go.jp

（携帯電話　http://www.i.river.go.jp）

北海道版「川の防災情報」http://www.river.go.jp/hokkaido

◆避難場所等に関することは

札幌市消防局　http://www.city.sapporo.jp/shobo

・　ダム放流の情報は、川に設置されているスピーカーや情報板から入手することができます。

・　台風情報、気象注意報・警報が発表されてから災害危険が切迫（避難指示発令）するまでをいくつかの段階に分けて、それぞれの段階において皆さんがとる行動と行政がとる行動の目安を記載していますので、この目安を参考にして、もし危険を感じたら早めの避難を心掛けてください。

（洪水危機管理シンポジウム：札幌市洪水ハザードマップについて）